

開催報告：石川県支部 第1回 とことん活用セミナー

日時：平成28年10月15日（土）14時開始

場所：白山市民交流センター 白山市役所敷地内

参加人数：53名

・開催の挨拶

矢口 智子（NPO 法人日本医師事務作業補助研究会理事長）

まず初めに今回のセミナー開催に至るまでの経緯と目的についてお話をいただきました。とことん活用セミナーの目的は、医師事務作業補助者をいかに現場で活用していくかを考えるために当支部で初の試みとして企画しました。後半のパネルディスカッションは、医師事務補助者が、管理職の皆さんにも是非一緒に研究会セミナーに参加していただき、今後のありかたについて考える機会をもちたいという思いから実現に至りました。かがやきセミナーに参加している医師事務作業補助者とともに参加し、自分達の病院に持ち帰り今後どうしていくかを話合っていたきたい。と述べられ、開会となりました。

・講演1 『医師事務作業補助者の医療へのインパクト』

講師：佐藤 秀次（NPO 法人日本医師事務作業補助研究会顧問）
（金沢脳神経外科病院 院長）

医師事務作業補助者の今後の活躍と現状をふまえ、医療界に果たしたインパクトについて講演をいただきました。8年経過した現在、書類代行作成、代行オーダー入力、外来診療補助は定着・成果をあげてきており、医師のスケジュール管理、統計業務の分野でも力を発揮、またチーム医療への貢献まで進んでいる段階であると述べられました。

いかにボトムアップをすすめていくかが、大きな課題であり、資格化に向けて医師とともに継続性を高めていく必要がある。是非、当研究会に入会していただきモチベーションをあげていただきたい。病院の管理者の方々には、他の専門職と同様に、参加できる環境を作ってほしいと述べられました。

医師事務作業補助者にもとめられるものはコミュニケーションスキルであり、コーディネーターとしての調整役としても活躍していれば病院としては大きい成果をあげられるとお話がありました。今後、まさに臨床を幅広く支援する役割になり医師同士の連携の仲立ちとしての貢献を期待され、パワフルな医師事務作業補助者が、医療界にインパクトをあたえるかは医師や管理者の育成と活用にかかっていると締めくくりの言葉で終わられました。

・講演 2 『医師・院長の立場から』

講師：勝木 保夫（石川県支部顧問）（やわたメディカルセンター院長）

医師・院長の立場から現場での実際の事例を交えた内容で講演をいただきました。

まずは導入にあたり自院の実際の運用を紹介。

外来診療補助スタイルについて、全科統一の必要はなく、各科の必要性を満たした足りないところを補ってチーム医療を高めることが重要となってくるが、医師の指導力が問われてくると述べられました。

医師は医師事務作業補助者に対し、明確にかつ正確に伝えるべきであり、本来医師が行う業務の権限移譲をやってもらうライン引きをしっかりと行う必要があるとのことでした。業務は分担するが分割ではなく、三位一体で患者をサポートし、患者様の満足度、医療の質の向上には医師事務作業補助者は不可欠な存在となっているのは間違いない。十分に活躍するためにはスキルをあげることが重要である。多職種＝チームとして病院を運営していくことが重要であり、医師事務作業補助者の地位の向上、質の向上に力をいれていきたいと締めくくられました。

・講演 3 『医師事務作業補助者の人件費は”費用”ではなく”原価”』

講師：(株) MM オフィス 工藤 高

医療経済学的なテーマでご講演いただきました。

今回のテーマである“原価”は：病院の労働生産性をあげる人件費。生産部門の職種は費用でなく原価である。国家資格を持つ医師は医師にしかできない仕事に専念することで、機械損失コストの削減により、労働生産性の向上に繋がり、インパクトも大きくなると述べられました。今後、医師事務作業補助者は自己研鑽によるレベルアップと医療の質向上のアウトカムが必要となる。このような背景で、医師事務作業補助者は、医師の業務の効率化を行い、労働生産性をさらに向上させていくことに寄与していかなければいけないと述べられました。

セミナーを開催して

今回、管理者向けと医師事務作業補助者向けのセミナーを同時開催するにあたり不安もありましたが、県内外から両セミナー併せて 142 名の参加をいただくことができ盛会におえることができました。

県内初の管理者セミナーでは、医師事務作業補助者の実際の活用や経済的効果のお話をいただき、また講師の先生方からは医師事務作業補助者の活用次第では、病院経営の貢献に

寄与できる事もわかりました。

継続教育を目的としたかがやきセミナーでは、医療における倫理や個人情報について再確認することもでき、また明日の業務につながる内容を多職種の方々から教わることもできました。相手を知ることで自分たちの業務にも生かされると思います。

パネルディスカッションでは他院の体制や業務内容を知ることができとても新鮮でした。今回、両セミナーにご講演いただいた先生方、セミナーの運営や準備に協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。このようなセミナーを開催できたことに感謝し、次のステップにつなげていきたいと思います。

やわたメディカルセンター

松井 圭子